



オンラインパネルディスカッション SDGs ユース会議 2030

～「行動の10年」をどう過ごすか～

● SDGs ユース会議 2030 概要

オンラインツール「Zoom」を用いて、パネルディスカッションを開催しました。パネリストには、千葉県内でSDGsに取り組む大学生・社会人をお招きし、「どのように環境活動を普及していけば良いか」「SDGsの達成目標の年である2030年に向けて何をしていけば良いか」などのテーマについて、自身の活動をもとに語っていただきました。初めての試みでしたが、チャット機能を活用し、参加者の方ともコミュニケーションをとることが出来ました。

企画名：「SDGs ユース会議 2030 ～行動の10年をどう過ごすか～」

日時：11月1日（日）14:30～16:00

プログラム

1. オープニング 14:30～14:45
2. トーク 14:45～15:35
 - 第1部：ここがおすすめ！私の活動
 - 第2部：行動しようとしている人に向けて
3. 質疑応答 15:35～15:50
4. クロージング 15:50～16:00



●司会進行の声



石川輝明・千葉大学●年（学生団体おりがみ）

類を見ないパンデミックに見舞われた2020年、オンライン・リモート時代への過渡期に、このような形でオンラインイベントに携わることができ、とても貴重な経験になりました。自分自身、参加者の方はもちろん、パネリストの方でさえも面識のないばかりでしたが、オンラインツールが出会うことへのハードルを下げ、新たなつながりが生まれた、良い機会になったと思います。本イベントを起点に、エコメッセちばの若者企画が発展していくことを願って、これからも精進していきたいです。



内藤真実・千葉大学●年（学生団体おりがみ）

本ディスカッションの企画から当日の進行まで務めさせていただきましたが、世界的に変化が求められている現在、環境活動や社会に向けて若者は何を考えどう行動すべきか、私自身考えさせられるような熱いディスカッションでした。ご覧くださった皆様に少しでも何かアクションを起こすきっかけをお届けできていれば幸いです。お話しいただいたパネリストの皆様はじめ、このような機会を下さったエコメッセちば様、関係者の皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

●パネリストの声



佐藤悠様・千葉商科大学2年（学生団体 SONE）

この度は貴重な機会を設けて頂きありがとうございます。環境問題について興味を持つ学生、企業様だからこそ内容の濃いディスカッションができたと感じています。各団体、企業様が様々な活動を行っていることを知りとても刺激になりました。今の学生という立場を生かして、今後も積極的に環境活動に取り組んでいきたいです。



齊藤有希・東邦大学 3 年 (東邦 Ecolution)

初めてオンラインでパネルディスカッションをするということで、緊張致しました。しかし、参加してみると、私以外のゲストの皆さんも SDGs に向けて様々な活動に取り組まれていて、私自身良い勉強となりました。オンラインという中ではあったのですが、聴講者の皆様も積極的にチャットで質問を下さり、とても有意義な時間となりました。私の団体でも新たに SDGs に向けた取り組みをしようと考えているので、ここで得た学びを活かして行けたらと思います。



伊東龍也・日本大学 4 年 (学生団体 Change)

この度、オンラインではありましたが、同世代の学生、また実際に仕事の一環として SDGs に取り組んでいる方々とディスカッションを行って自分にとって、とても有意義な時間でした。ディスカッション後、飲食店でアルバイトをしている私は、食品ロスが多いことを改めて実感し、改善できることはまだまだたくさんあると思いました。自分たちが生活する地球を守るべく、今できることをしっかり行動に移し、2030 年を迎えていきたいと思っています。

芳賀宏輔 (千葉ジェッツふなばし)



社会人という立場からの参加ではありませんでしたが、同じ地域で多くの学生が活動していることを知ることができ、とても良かったです。自分自身、まだまだ試行錯誤しながらではありますが、いろいろな人と手を取り合い、この地域のため、さらには地球のために、もっと大きなことや面白いことをしていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。

●参加者アンケートから

- ・熱心に環境活動をしている学生の話を知ることができて、刺激になりました。
- ・学生という立場で自主的に活動している最前線の人物の生の声を聞くことができた。学生だからその視点が面白かったです。
- ・千葉や地球における課題解決に取り組む団体の活動だったり、意志を知る機会になった事は本当に良かったです。今後も継続して活動していく意識が高まりました。
- ・とても良い企画でしたが、出来たら双方ならなお良かったです。

エコメッセ 2020 in ちば
オンラインパネルディスカッション 14:30開演 (14:15会場)
SDGsユース会議2030 ～「行動の10年」をどう過ごすか～

参加者募集

- 開催日時：11月1日(日)
- プログラム：
 - 14:30～14:50：開催趣旨説明、自己紹介・団体紹介
 - 14:50～15:10：ここがおすすめ！私の活動
 - 15:10～15:30：行動しようと考えている人に向けて
 - 15:30～15:50：質疑応答
- パネリスト (五十音順)：
 - 伊東龍也氏 (学生団体 Change)
 - 佐藤悠氏 (学生団体 SONE)
 - 齊藤有希氏 (東邦 Ecolution)
 - 芳賀宏輔氏 (株式会社千葉ジェッツふなばし)
- 司会進行：学生団体おりがみ

●伊東龍也氏 (学生団体 Change)
日本大学生産工学部 4 年、学生団体 Change 代表。社会を取り巻く諸問題を取り上げ、「学生の目線で見たい」ことを具体的な形にする。企画・展示サークル Change です。

●齊藤有希氏 (東邦 Ecolution)
東邦大学の3年の齊藤有希です。私が所属している東邦 Ecolution は、「様々な主体の協働によるエコ活動の推進」をモットーに学内外で環境活動を行っている団体です。

●学生団体おりがみ
「学生が軸となり、ひとりでも多くの人に関われるオリンピック・パラリンピックをつくる」を理念に、2014年設立。学生団体やNPO、行政、企業などと連携しながら、様々なイベントを企画・運営しています。

●佐藤悠氏 (学生団体 SONE)
千葉商科大学 2 年、学生団体 SONE 所属の佐藤悠と申します。千葉商科大学が自然エネルギー100%大学という目標を掲げており、私もそのような活動に参加したいと思い、現在 SONE に所属し活動しております。
SONE では、学生目線で省エネや地球温暖化防止への取り組みを考え、大学とともに活動を行っております。

●芳賀宏輔氏 (株式会社千葉ジェッツふなばし)
芸能事務所でのタレントマネージャーや洋菓子ブランドの広報を経て、2018年に株式会社千葉ジェッツふなばしに入社。現在は地域振興・イベントチームで社会貢献活動「JETS ASSIST」を担当。地域愛着を掲げるプロスポーツチームとして地域を盛り上げる事に加えて、様々な社会課題を解決するため日々、活動しております。

●企画：学生団体おりがみ
●定員：500名 (参加料無料、申込締切2020年10月31日)
●参加方法：参加希望の方は、下記申込フォーム、もしくは、ホームページからお申し込みください。
<https://www.ecomesse.com>

※視聴中に、チャット機能により、ご意見やご質問を送ることができます。
※Zoomによる講演ですので、開催前日までにID・パスワードをお知らせします。
・YouTubeの同時ライブ配信も行います(申込不要、チャット参加は不可)。

●主催・お問い合わせ：エコメッセちば実行委員会
ホームページ：<https://www.ecomesse.com>
e-mail：info@ecomesse.com Phone：080-5374-0019

申込フォームに直接アクセス

